

2023 高専

# 災害ボランティアについて

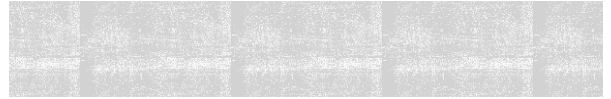


1



## ボランティアとは

ボランティアの基本的概念



2

### 1995年1月 阪神淡路大震災 ボランティア元年



3

当時は「ボランティア」という文化はあまりなく、一般人が被災地で支援活動をするのは珍しい時代だった



4

### プロテスタント教会の原理？

「ボランタリズム」とは、来国教として税金で維持される宗教制度から分離し、信者が自らの献金で宗教を支える意思を表現する宗教用語

1647年イギリスの文献が最も古い記録  
【自警団】 外敵から自分たちを守る  
「正義のために (Goodwill【善意】)」

5

### 18世紀

善意から → 志願兵へ → 善意の志願兵

世界に植民地を持つようになったイギリスは、自国の利益を守るために多くの志願兵を集めた。

多くの失業者が志願(公益と私益の混在)

一般的には貧しい人のこと指していた

バーネット侯 (大学教授)

「貧富の差 (スラム問題)」という社会問題と戦う志願兵はいないか!

**自発的 + 社会公益目的**

6

### 19世紀

アメリカでは、宗教宗派の教義が厳しく、近隣者同士でも助け合うことが出来なかった。

このような戒律に抑圧されない仕組みが必要に  
1896年 Volunteers of America  
社会福祉団体が結成される

自発性・社会公益性 + 抑圧されない自由意志

7

### ボランティア の特性



★有償無償の考えは無い

8

### なぜボランティアするのか

質問

あなたの目の前で、おじいちゃんが転んでしまいました。

あなたは何を考えますか

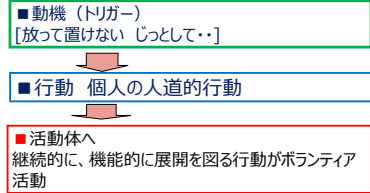


大丈夫かな？ 思わず声をかけそうに

9

### RADICAL WILL

人間誰もが持つ、相互扶助の心理



10

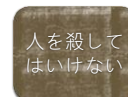


災害ボランティアは必要なのか？

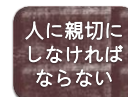
近年、災害が発生すると当たり前のように実施される災害ボランティア活動！  
しかし、本当に必要なのだろうか？

11

### 完全義務と不完全義務



完全義務



不完全義務

12



## 福井県での 災害ボランティアの備え

ナホトカ号重油流出事故以降



13

## ナホトカ重油災害から始まった

97年1月9日～ 10万人のボランティアが集まった



14

## 人材・資金・専門能力が課題

### ノウハウが無い

- 大勢のボラをコントロールできない

### 資金が無い

- 資金の確保の方法を知らない

### つながりが無い

- 組織間での対立

## 外部のボランティアに依存するしかなかった

阪神淡路大震災経験  
ボランティア団体  
日本財団 など

15

## 次に災害が起きたときは、自分たちの力で

ボランティア団体・社協・日赤・県などが話し合い、主体の違う団体が、同一の目的のために、責任を共有し、お互いを尊重し、協力し合い、目的を達成する「協働の理念」のもと、以下の事項を決定し、推進することになった

1. 福井県災害ボランティアセンター連絡会の設置
2. 福井県災害ボランティア活動基金の創設
3. 研修・訓練の実施

16

## 福井県災害ボランティアセンター連絡会を設立

- 「常設型」  
災害が起きてから、県vcを開設するかどうかの議論では立ち遅れる。常時センターは開設されている状態で同会を設置した
- 運営主体  
あくまでも「民」が運営主体となることを確認
- 費用の支弁  
その都度判断することに

17

## 福井県で災害ボランティア基金を設置

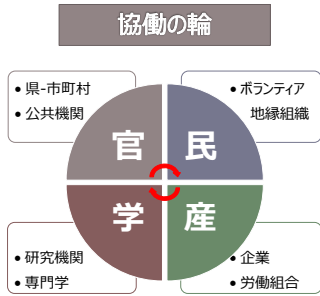
重油災害の寄付金等の配分後残額等で基金を創設  
**130,000,000万円**

この金額が妥当なのか、有効なのか不明な状態

福井豪雨で運用してわかったこと

必要な時に 必要なものを 必要な分だけ  
財政的に、市町村にとって非常に有難い  
人口の少ない地方都市には非常に効果的

18



19



### 福井豪雨災害

平成16年7月18日（日）発災  
 死者行方不明 5名 家屋被害 約14,000棟



20

### 新潟豪雨災害 平成16年7月13日

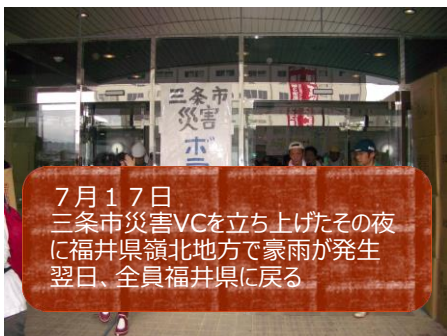
新潟県からの要請で  
 災害ボランティア活動の  
 支援を実施



21



22



23



24





25



中日新聞社提供

26



27



28



29



30



31



32



33



34



35



36





37



被害位置図

38



39

福井豪雨災害 当日ドキュメント

- 7月18日 14:00 福井県到着  
被災地巡回
- 18:30 福井県連絡会 緊急会合  
・運営開始決定  
・仮本部（県社協内）  
・実施本部（福井市）  
・運営手順の確認  
計画立案
- 21:30 県知事より先決承認
- 23:00 福井市と協議  
30 今立町水害VC開設準備完了

40

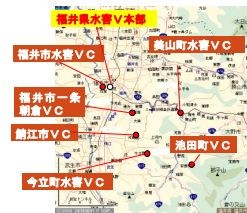
県水害V本部 活動目標

- ① 目標6万人！ 期間14日間
- ② 運営資金 1億円の確保
- ③ 1日1万人受入態勢整備を4日以内
- ④ 各現地ボラセンを3日以内開設！
- ⑤ 安全確保の保険整備 1日以内
- ⑥ 全ての運営システムの確立 //

41

各地のボランティアセンター設置へ

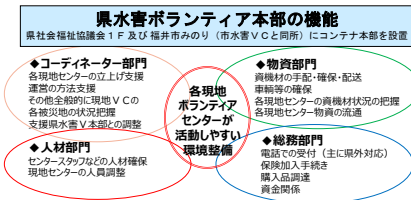
- 19日 今立水害VC稼働
- 20日 福井市水害VC稼働  
鯖江市VC稼働
- 21日 美山町水害VC稼働
- 23日 朝倉・一条VC稼働  
（※特別プロジェクト）



42

## 県水害V本部 指導性の効果

- ・被災地全体を一つ（面）として対応する。
- ・市町村の行政区分を超えて活動を展開できる



43

## 協設協営（福井方式）

協働で設置し、協働で運営

県ボランティア本部・各現地センター 徹底した地元運営主義

福井県では行政（県・市町）もボランティアセンター設立・運営

責任を共有し、お互いの特性を活かし、同一の目標に向け活動



↓  
県災害対策本部会議  
に加わることになる

44

## 災害ボランティアセンターの強みと弱み

### ■強み

- ・被災者の情報量が豊富
- ・復旧速度を常に把握している

行政対応に  
影響

### ■弱み

- ・動員力が弱い
- ・活動予測が難しい
- ・身分保証がないため不安定

行政力を活  
用しかバー

45

## ●医療ボランティアチーム

発災後3日目に結成

福井大学医学部看護学科・赤十字など

美山町折立地区などの、道路が寸断されて陸の孤島状態の地域住民の健康管理を中心に活動実施

医療体制強化のきっかけに！

46



47



48





49



医療班・災対本部員との状況報告と  
今後の対応を協議

50



51

**結果 高い評価を得た**

- 福井県災害ボランティア推進条例 制定
- 災害ボランティア活動基金の増額  
660,000,000円に
- 県外災害支援にも基金の運用が可能に
- 全国各地に被災地に資機材の支援
- 台風23号災害で京都府に、中越地震で新潟県の  
災害ボランティア支援に県からの派遣として活動

52

**西日本豪雨災害**

被災現場とボランティアセンター



53

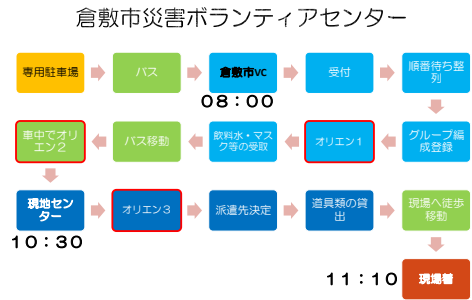
**家屋被害の状況**

- 広島県 約38000棟
- 岡山県 約14000棟
- 福井県 約14000棟

54



55

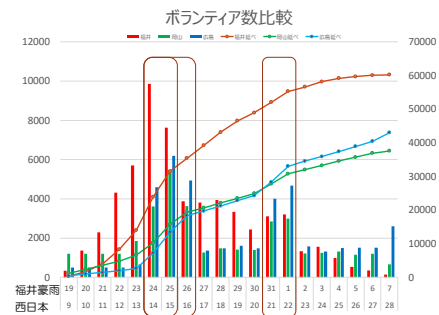


56

平成30年7月豪雨  
これまで各県で活動したボランティア者数

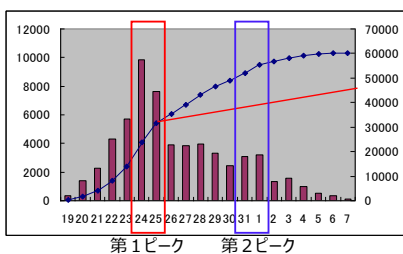
| 7月    | 岐阜県   | 京都府   | 兵庫県 | 鳥取県 | 島根県   | 岡山県    | 広島県    | 山口県   | 愛媛県    | 高知県   | 福岡県   | 佐賀県 | 合計      |
|-------|-------|-------|-----|-----|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|-----|---------|
| 7月1日  | 1,452 | 784   | 60  | 20  | 117   | 3,524  | 5,595  | 873   | 2,321  | 398   | 247   |     | 14,035  |
| 7月15日 | 1,527 | 809   | 39  | 17  | 251   | 5,454  | 8,188  | 709   | 2,825  | 184   | 228   |     | 18,228  |
| 7月16日 | 780   | 880   |     |     | 215   | 3,627  | 4,820  | 484   | 1,801  | 129   | 154   |     | 12,800  |
| 7月17日 | 180   | 114   |     |     | 38    | 1,263  | 1,360  | 166   | 656    | 45    | 54    |     | 3,355   |
| 7月18日 | 226   | 283   |     |     | 57    | 1,478  | 1,470  | 155   | 840    | 33    | 54    |     | 4,463   |
| 7月19日 | 130   | 129   |     |     | 38    | 1,422  | 1,814  | 221   | 833    | 33    | 58    |     | 4,345   |
| 7月20日 | 133   | 21    |     |     | 27    | 1,401  | 1,478  | 181   | 844    | 33    | 33    |     | 3,865   |
| 7月21日 | 235   |       |     |     | 81    | 2,859  | 4,915  | 227   | 1,165  | 75    | 75    |     | 8,662   |
| 7月22日 | 188   |       |     |     | 87    | 2,984  | 4,873  | 200   | 1,276  | 56    | 56    |     | 8,663   |
| 7月23日 |       |       |     |     | 38    | 1,223  | 1,585  | 43    | 404    | 27    | 27    |     | 3,405   |
| 7月24日 |       |       |     |     | 22    | 1,264  | 1,218  | 110   | 568    | 21    | 21    |     | 3,285   |
| 7月25日 |       |       |     |     | 11    | 1,281  | 1,488  | 65    | 870    | 90    | 21    |     | 3,610   |
| 7月26日 |       |       |     |     |       | 1,156  | 1,514  | 41    | 513    | 23    | 23    |     | 3,252   |
| 7月27日 |       |       |     |     |       | 1,204  | 1,510  | 25    | 506    | 20    | 20    |     | 3,225   |
| 7月28日 |       |       |     |     |       | 687    | 2,559  | 16    | 835    | 40    | 40    |     | 4,157   |
| 7月29日 |       |       |     |     |       | 0      | 0      | 0     | 0      | 0     | 0     |     | 0       |
| 7月30日 |       |       |     |     |       | 114    | 0      | 0     | 0      | 0     | 0     |     | 122     |
| 7月31日 |       |       |     |     |       | 1,211  | 1,521  | 251   | 821    | 20    | 20    |     | 3,010   |
| 7月合計  | 6,890 | 4,184 | 231 | 92  | 1,819 | 18,873 | 44,583 | 4,014 | 17,816 | 2,025 | 2,306 | 80  | 122,714 |

57



58

### ボランティア受付数 県水害V本部



59



災害ボラセンの  
目的と目標からの戦略  
目標と戦略を考える

60

## 目的と目標と戦略

### 目的 = 目標 + 戦略

実現のために達成すべき数量や成すべき状態・時間など

目標を可能にするための効果的な手段や仕掛けなど

61

## 災害ボランティアセンターの目的

1. 被災者（地）の救援・支援
2. 有効なボランティアパワーの提供
3. ボランティアの安全管理

福井県内で約14,000棟の被害が発生した

被災者の精神的・肉体的負担を軽減し二次被害を発生させない

62

## 目標と戦略

福井県内で約14,000棟の被害が発生した

被災者の二次被害を発生させない

### 目標

活動日数14日間で何人のボランティアを集めるか

### 戦略

人を集める戦略 + 現場戦略

63

## 2022年 南越前町大雨災害ボランティアセンター



ボランティアセンターの運営能力の関係で、各市町からのボランティア派遣バスの受入が出来ないと・・・

急速、ボラバスセンター設置 3日後に運行開始へ

64



65

## 昭和23年 福井大震災の記録より



死者 3,579名  
全壊率 32%  
焼失家屋 3.4%  
半壊率 10.5%

66



67

この考えは、ずっと一貫した私たちの救援のための支柱だった。

なんでもいい、困っている人が救われさえしたらいいのだ。

目に余る福井県庁の手ぬるい場面もあった。その裏付ける資料もあった。しかし、その悪い点を挙げて県を弾劾しても、それが何になる。まだ救われない多くの人々が、巷に残されているではないか。

私たちは県と喧嘩をするほど、有り余った時間は持っていない。

69



## THE END

レポート忘れないように



71

### 関東学生救援隊の記録

「まだ、官庁のお先棒を担いでいるのですか」

「お先棒を担ぐとか、担がないとか、そんなことは考えたことはない。

なんでもいい、人が救われたいのだから。

少なくとも官公庁は、私たちが持っている最も強力な機関なのだから、それと一緒に仕事したって別に悪いことではない」

68

活動の撤収を始めたころ、新聞社の者が来て、『何か美談はないか』と言ったが、『そんなものは無い』と答えた。

組織活動が最もうまくいっている時、美談の生まれる余地はないだろう。

**みんな誰ひとり、手柄を立てようと思った者はいなかった。認められようと思った者もない**

### 協働の理念とボランティアの本質が

70